

令和6年度 岡崎市立翔南中学校 部活動に関わる活動方針

1 本校の現状

- ・本校には、陸上競技部（男・女）、ソフトテニス部（男・女）、バスケットボール部（男・女）、卓球部（男・女）、剣道部（男・女）、水泳部（男・女）、軟式野球部、サッカー部、バレーボール部（女）、吹奏楽部、現代芸術文化部、マルチメディア部の18部活がある。ただし、水泳部は今年度から募集を停止する。
- ・生徒アンケートでは、90%以上の生徒が「部活動がとても楽しい」「楽しい」と答えている。また、保護者アンケートでは、「子供は部活動にとっても積極的に参加している」「積極的に参加している」と答えた保護者が90%以上いた。
- ・最終下校時刻は、日没時刻の変化に応じて定められている。よって、平日の活動時間は、夏期に長くなり冬期に短くなる。
- ・生徒、教員ともに、基本的にいずれかの部に所属している。ただし、令和2年度より校外活動を重視する生徒は、部活動に加入しないという選択も認める。

2 本校における課題

- ・社会情勢の変化に伴い、部活動に対する価値観の違いがみられる。また、学校外での文化的、運動的活動を大事にしたいという生徒や保護者もおり、学校生活との両立を相談されることもある。
- ・教育課程における行事の際には、行事への取組が優先される。そのため、部活動との両立が難しい時期がある。
- ・子供の安全確保のため、顧問が練習につくことを原則としている。そのため打ち合わせや仕事の下校後となり、教員の多忙化の要因となっている。また、教員配置によっては経験したことのない部活動を担当する場合もあり、指導法を勉強しながら指導していかなければならない。

3 具体的な活動方針

(1) 部活動運営について

- ・学校は、子供の成長や学業との両立に配慮した適切な部活動運営を行うため、校長を中心とする責任ある指導・運営体制の下、学校全体として組織的に指導、運営及び管理していく。
- ・校長は、岡崎市教育委員会が策定したガイドラインの趣旨を踏まえ、部活動の目標や運営方針を策定し、組織全体で共有するとともに、実態に応じて顧問会議を定期的で開催するなど、部活動の組織化を図る。
- ・校長は、本校の部活動に係る活動方針を学校のホームページに掲載および紙面にて公表し、PTA総会等で保護者に説明する。
- ・顧問は、部活動の目標や運営方針に従い、参加する大会・コンクール等を精選した上で、年間及び月間等の活動計画を作成し、校長に提出する。また、保護者へ活動計画を配付する。
- ・顧問は、子供の安全・安心が確保されるよう、健康管理や安全管理を徹底するとともに、スポーツ障害の予防、体罰の根絶、女子への指導に関する正しい理解に努める。
- ・顧問は、顧問同士や外部指導者等との運営方針等の共通理解を図り、生徒の過重負担

にならないよう協議・調整をし、その管理・指導の下に協力して活動を進める。

(2) 活動量（休養日や活動時間等）について

ア. 平日

- ・活動日は、週240時間以内とする。
- ・平日の1日の活動時間は、80分以内とする。
- ・始業前は、原則として年間を通して活動しない。

イ. 休日（週休日及び祝日）

- ・土曜日、日曜日のいずれかは、原則「休業日」とする。
- ・毎月「第3日曜日（家庭の日）」は、原則、年間を通して「休業日」とする。
- ・活動時間は3時間程度までとし、長時間〔終日〕練習はしない。なお、練習試合や大会への参加等により活動時間が長くなる場合には、気象状況や生徒の健康状態を考慮した範囲内とする。

ウ. 長期休業中

- ・土曜日、日曜日については、原則、活動しない。
- ・活動時間は、3時間程度までとし、原則、長時間〔終日〕練習はしない。
- ・活動終了時刻を16時15分、最終下校時刻を16時30分とする。

エ. 練習試合について

- ・原則として愛知県内での実施とし、宿泊はしない。

オ. その他

- ・大会への参加等でやむを得ず土日ともに活動する場合には、代替休業日を設定する。
- ・日没までに帰宅できるように活動を終え、安全に帰宅できるようにする。
- ・選手輸送、部員移動については、原則として公共交通機関を利用し、必ず顧問の引率の下で移動させる。ただし、保護者が自身の子供の送迎を行う場合もある。

4 その他

(1) 保護者及び地域との連携

- ・学校または顧問は、地域からの信頼を得るため、日頃から保護者との信頼関係を築き、子供たちの活動が充実したものになるように心掛ける。
- ・学校または顧問は、地域や保護者に積極的に情報を発信し、地域や保護者からの理解を得た部活動運営に努める。

(2) 安全の確保と緊急時の対応

- ・子供の安全確保のため、活動場所の施設、設備、道具等について管理を適切に行うとともに、常にその状態を把握し事故防止に努める。また、子供の健康状態を確認し、十分に水分や塩分が補給できる休憩時間を確保して、家庭と連携しながら子供の健康管理を徹底する。
- ・緊急の事態や不測の事態に対処できるように、原則として顧問不在の中で活動しない。また、子供の安全を最優先し、体調不良やけがが発生した場合には子供の処置を速やかに行い、保護者への連絡や医療機関で受診するための道筋を確立させておく。